

折尾愛真

News Letter



2011年 5月
2号 Vol. 42

〒807-0861 福岡県北九州市八幡西区堀川町12番10号
TEL 093-602-2100 (代表) FAX 093-692-5690
E-mail: info@orioaishin.ac.jp
URL: http://www.orioaishin.ac.jp/

学園聖句： 「光の子らしく歩きなさい」
(エペソ人への手紙5章8節)

建学の精神 *Since 1935* (昭和10年)

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

普通科

- 特進コース
- 普通コース
- 健康福祉コース
- 保育コース
- インターコース
- 一貫コース

看護科

- 看護科
- 看護専攻科

商業科

- 商業コース
- 美容専攻コース
- 製菓衛生師コース

創立記念礼拝



記念講演中の韓相俊 (ハン サンジュン) 先生



締結書に調印する増田校長

4月27日(水)、創立76周年を祝う記念礼拝が韓国の眞景女子高等学校校長の韓相俊 (ハン サンジュン) 先生をお迎えし、学園一同がパターンホールに集まり礼拝を行いました。記念礼拝後、姉妹校締結式があり、これからの両校の交流と親睦を深めることを約束しました。また、記念講演では韓先生が本校の創立者増田孝先生の著作集より「はじめは小さく」の一文を引用され、両校の交流が盛んになる事を望まれました。

看護科

戴帽式

5月6日(金)、第44回戴帽式があり看護科2年生80名は厳粛な中、緊張した面持ちで臨んでいました。式ではナイチンゲール誓詞を全員で暗唱し4週間の臨地実習に向けての決意を表明しました。



2年5組



2年6組

戴帽式でのキャッピング

普通コース

先輩と語ろう！

5月21日(土)、普通コースの生徒122名は進路学習の一環として3人の卒業生による講演を聞き今後の進路選択に役立てました。講師を務めた卒業生は次の通りです。



右から高田さん・日笠山さん・麻生さん



高田 瑞希さん	北九州市立曾根中学校勤務	平成19年卒業
麻生 彩華さん	ドコモショップ勤務	平成21年卒業
日笠山 靖弥さん	梅光学院大学英語英文学科在籍	平成23年卒業

特別進学コース

北予備の授業始まる！

5月7日(土)より、隔週で受験対策の一環として今年度も北九州予備校の講師をお招きし、国・数・英の特別授業が始まりました。12月までの8ヶ月間、入試に向けて頑張ります。2年生は9月より開講の予定です。



講演中の行友先生



美容専科コース

4月26日(火)美容専科生対象に、着物の着付け教室があり、将来の美容師を目指し真剣に取り組んでいました。



折尾愛真株式会社

3月20日から販売している「おりをろまん」の初日の売り上げ130箱分(2万6千円)を毎日新聞社西部社会事業団を通じて東日本大震災救援金として寄付致しました。



進路講演会

5月21日(土)、1,2年生を対象に進路講演会が北九州予備校の行友先生をお招きし大学入試の最新情報と対策を講演して頂きました。早い時期に目標を決めるよい機会となりました。

商業コース

頑張ってます！

平成23年度バスケットボール全国高等学校総合体育大会北部ブロック予選会に於いて、アベック優勝しその原動力となった商業科商業コースの男女4名が最優秀選手賞と優秀選手賞に選ばれました。

最優秀選手賞	男子	都留彬久さん	浅川中出身
	女子	間 彩香さん	津屋崎中出身
優秀選手賞	男子	緒方隆正さん	浅川中出身
	女子	濱田千聖さん	折尾中出身

親睦遠足

4月28日(木)、1年生は九州国立博物館、2年生はスペースワールドで、親睦会が行われ楽しい一時を過ごしました。また、3年生は進路講演会に参加しました。



「折尾歴史探訪」

第21回 高見神社

則松七丁目に鎮座します高見神社の創建は何時の時代からかは解りませんが、人々がこの地に定住して、家父長制の下農耕生活を始めた時代から、氏神様への信仰は篤いものがあつた筈です。小さな祠に、氏神を祭祀して、五穀豊穡を祈って農耕生活に勤しんで来た則松村の歴史を感じないわけにはいきません。由緒には穴生の鷹見神社より神霊を勧請して創建したとあります。穴生の鷹見神社の御祭神は文武天皇の慶雲年間(七〇四～七〇七)、今から凡そ一三〇〇年前に役行者(えんのぎょうしゃ)によって、紀州熊野三所権現が招請されたのが鷹見神社の由来と伝えられています。三所権現とは伊弉冉大神(熊野那智宮)・素戔鳴大神(熊野本宮)・速玉之男神(熊野新宮)の三大神を云います。江戸時代の寛文年間(一六六一～一六七一)に高見を鷹見に改称されたようです。近村に鷹見・高見の神社名が点在鎮座していますが、則松の高見神社を始めその多くがこの穴生の鷹見神社を本宮として勧請されています。則松の高見神社は当初正願寺の地内にあつて正願寺明神とも云っていたようです。祭神は素戔鳴命・速玉之男命・事解之男命の三神を主祭神としています。井上周防之房の与力大野勘右衛門之尉直秀が現在地に移したと伝えられています。隣接する永犬丸の宮の谷に鷹見神社が鎮座していますが、祭神は全く同じ三神で、延宝八年(一六八〇)穴生の本宮より勧請したとあります。

<小田弘之氏著『折尾周辺の史跡めぐり』より>